

製品名: HoxA11/D11 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab12166**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	28kDa

抗原情報

遺伝子名	HOXA11/HOXD11
別名	HOXA11; HOX11; Homeobox protein Hox-A11; Homeobox protein Hox-11; HOXD11; HOX4F; Homeobox protein Hox-D11; Homeobox protein Hox-4F
遺伝子 ID	3207/3237
SwissProt ID	P31270/P31277
免疫原	抗血清はヒト HOXA11/D11 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 216-265

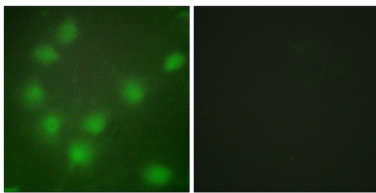
背景

脊椎動物において、ホメオボックス遺伝子と呼ばれる転写因子群をコードする遺伝子は、4本の染色体上の A、B、C、D というクラ

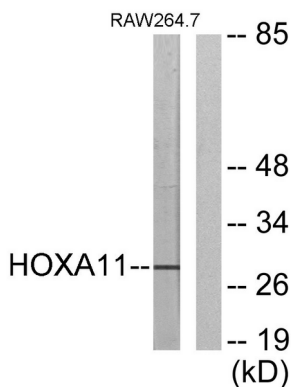
スターに存在します。これらのタンパク質の発現は、胚発生において空間的および時間的に制御されています。この遺伝子は 7 番染色体上の A クラスターの一部であり、遺伝子発現、形態形成、および分化を制御する可能性のある DNA 結合転写因子をコードしています。この遺伝子は子宮発生の制御に関与し、女性の生殖能力に必須です。この遺伝子の変異は、無巨核球性血小板減少症を伴う橈尺骨癒合症を引き起こす可能性があります。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]、疾患: HOXA11 の欠陥は無巨核球性血小板減少症を伴う橈尺骨癒合症の原因です[MIM:605432]。この症候群は、骨髄不全と骨格異常の稀な併発から成ります。患者は皆、橈骨と尺骨の近位癒合という共通の骨格異常を有し、その結果、前腕の回内と回外が著しく制限されます。一部の患者は、出生時からのあざや出血を伴う症状性血小板減少症も呈し、骨髄または臍帯幹細胞移植による治療が必要となります。機能: 配列特異的転写因子であり、細胞に前後軸上の特定の位置的アイデンティティを与える発生制御システムの一部です。類似性: Abd-B ホメオボックスファミリーに属します。類似性: ホメオボックス DNA 結合ドメインを 1 つ含みます。、

研究分野

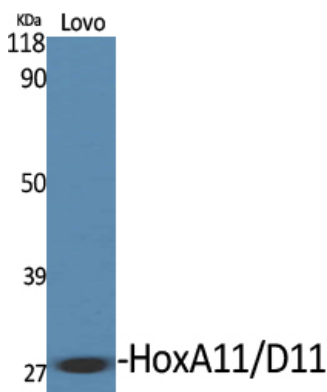
画像データ



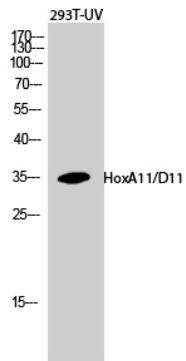
HOXA11/D11 抗体を用いた HUVEC 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像です。



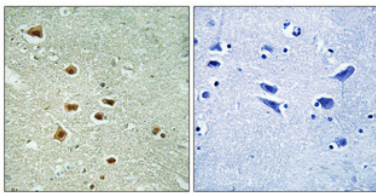
HOXA11/D11 抗体を用いた RAW264.7 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



1: 500 に希釈した HoxA11/D11 ポリクローナル抗体を使用したさまざまな細胞のウェスタンブロット分析。



1: 500 に希釈した HoxA11/D11 ポリクローナル抗体を使用した 293T-UV 細胞のウエスタンブロット解析。



パラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学染色。抗体は 1:100 (4℃、一晚) に希釈した。抗原賦活化には、高圧高温トリス EDTA (pH8.0) を使用した。抗体から得られたネガティブコントロール (右) は、免疫原ペプチドで前処理した。